

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 タカセ株式会社
 コード番号 9087 URL <http://www.takase.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞田 洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部副本部長 兼財務部長 (氏名) 島津 和人
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 JQ

TEL 03-3571-9497

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,834	△14.7	126	0.8	191	48.9	134	110.9
20年3月期第1四半期	3,324	3.0	125	—	128	—	63	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	12.99	—
20年3月期第1四半期	6.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	11,554	—	7,553	65.4	—	—	728.01	—
20年3月期	11,636	—	7,562	65.0	—	—	728.85	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,553百万円 20年3月期 7,562百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	10.50	10.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.50	10.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期連結累計期間	5,900	△12.3	110	△62.0	130	△52.1	60	△56.4	5.78	—
通期	12,100	△8.7	300	△54.6	300	46.1	160	△40.8	15.42	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 10,545,133株 20年3月期 10,545,133株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 169,856株 20年3月期 169,856株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 10,375,277株 20年3月期第1四半期 10,387,990株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照願います。
- 当第1四半期連結会計期間より「四半期連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期連結財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。
 また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油や各種資源の価格高騰、さらには食料品や生活用品価格への値上げ波及、サプライム問題に端を発する世界的な信用収縮などによって、景気は足踏み状態とみられており、先行き特に個人消費が低迷する懸念が高まっております。

当社グループの属する物流業界は、基調といたしましては依然、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による料金低下に起因する収益力の弱さから脱却できない状況が続いており、また、運送事業における燃料費の高騰が収支に悪影響を与えております。加えて、企業の景況感が収益環境の悪化などを背景に製造業、非製造業ともに悪化したため、いっそう厳しい環境に立ち至っております。

こうした状況の中で、当社グループは「グループ経営の強化」を重要課題に掲げ、グループ各社がそれぞれの事業分野や地域において競争力を高め、収益力向上を果たすことを目指して効率化に努めてまいりました。

当第1四半期連結会計期間におきましては、主力の国内物流事業の営業収益で、機械工具類大口顧客業務の取扱数量が前年同期間と比較して大幅に下回り、音楽映像分野のメーカー商品業務をはじめとして総じて取扱物量が伸び悩みました。また、国際物流事業では、輸入貨物の取扱量が増加したものの、香港などアジア向け輸出貨物の取扱量が減少しました。この結果、当社グループの営業収益は前年同期間と比較して14.7%減の28億34百万円の計上に止まりました。

営業費用におきましては、一昨年から実施してきた作業部門における運営体制改善や業務量に応じた人員投入と作業効率向上、運送事業分野での不採算業務の効率化などのコスト改善を推進したことに加え、パレット管理業務を自社運営に切替えたことともなう同事業実施子会社の事業停止（平成20年3月末）と品川営業所賃借終了（平成20年5月末）による合理化効果、また前年6月の役員退任による経費削減等によって、営業利益は前年同期間と比較して0.8%増の1億26百万円となりました。

営業外損益におきましては、配当収入が大きく増加したほか、支払利息が軽減され、営業外損益合算において前年同期間と比較して61百万円好転して64百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期間と比較して48.9%増の1億91百万円となりました。

特別損益におきましては、特別利益に固定資産売却額2百万円、役員退職慰労引当金戻入額8百万円等を計上した一方で、特別損失の発生がなかったため税金等調整前四半期純利益は、役員特別退職慰労金など特別損失を29百万円計上した前年同期間と比較して、95.3%増の2億4百万円となりました。

以上の結果、四半期純利益は110.9%増の1億34百万円となりました。

(2) 事業部門別営業収益の状況

当社グループでは、国際－国内物流を一貫しての輸出品に関するすべての物流収入を輸出物流部門とし、国内での保管・配送を含む輸入品に関するすべての物流収入を輸入物流部門、国内生産品の国内での物流業務の収入を国内物流部門として、それぞれ営業収益を計上しております。

輸出物流部門の営業収益は、香港などアジア向け輸出が減少したことで、前年同期間に比較して17.2%減の1億82百万円となりました。

輸入物流部門につきましては、輸入貨物を取扱う主要顧客の業務量の伸びがみられ、営業収益は9億40百万円となって、前年同期間に比較して10.3%の増収となりました。

国内物流部門におきましては、機械工具類取扱業務が大きく減少したほか、当社が主力とする音楽映像商品物流分野において、情報配信拡大等によって市場規模が縮小傾向にあり、メーカー商品取扱数量が伸び悩んだことなどから、国内物流部門の営業収益は、前年同期間に比較して23.9%の大幅減となる17億3百万円に止まりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

A. 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ81百万円（△0.7%）減少し、115億54百万円となりました。

この主な要因は、受取手形及び売掛金が営業収益減少を反映して前連結会計年度末に比べ1億28百万円減少し、投資その他の資産において、投資有価証券が株価の改善によって前連結会計年度末に比べ92百万円増加したものの、その他項目で、賃借倉庫の返却による差入長期保証金の回収などによって前連結会計年度末に比べ72百万円減少したことによるものであります。

なお、有形固定資産と無形固定資産の合計では、前連結会計年度末に比べ30百万円増加しており、その主な要因は固定資産の取得による増加が1億18百万円、減価償却による減少が86百万円であり、ます。

B. 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ72百万円（△1.8%）減少し、40億1百万円となりました。

この主な要因は、支払手形及び営業未払金が営業収益減少を反映して営業原価が減少したことによって前連結会計年度末に比べ1億76百万円減少し、賞与引当金が当第1四半期相当額を引当てたことによって前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、短期借入金が決算・賞与資金の借入等によって前連結会計年度末に比べ1億81百万円増加し、一年内償還予定の社債が一部償還によって前連結会計年度末に比べ55百万円減少し、さらに長期借入金が一年以内に返済予定の額が短期借入金に振替表示されたことによって前連結会計年度末に比べ58百万円減少したことによるものであります。

C. 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ8百万円（△0.1%）減少し、75億53百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が当第1四半期純利益による増加1億34百万円、前期剰余金処分にとりなう期末配当金支払による減少1億8百万円、連結子会社減少による減少64百万円によって前連結会計年度末に比べ38百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが2億88百万円の増加（前年同期間比93百万円の収入増）、投資活動によるキャッシュ・フローが1億30百万円の減少（前年同期間比1億17百万円の支出増）、財務活動によるキャッシュ・フローが41百万円の減少（前年同期間比51百万円の支出増）となり、現金及び現金同等物に係る換算差額および連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額を調整し、当第1四半期連結会計期間末には、23億37百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の資金残高は、前連結会計年度末より30百万円の増加となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得された資金は、2億88百万円（前年同期間比93百万円の収入増）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益の資金増2億4百万円（前年同期間比99百万円の収入増）、減価償却費の資金増86百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出された資金は、1億30百万円（前年同期間比1億17百万円の支出増）となりました。

これは主に、その他の収入項目に長期保証金の回収による収入71百万円があるものの、有形固定資産の取得による支出1億40百万円（前年同期間比1億13百万円の支出増）とその他の支出項目にソフトウェアの購入による支出43百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出された資金は、41百万円（前年同期間比51百万円の支出増）となりました。

これは主に、長・短期借入金の収入と支出の純額1億22百万円の資金増があるものの、社債の一部償還による支出55百万円および配当金の支払額1億8百万円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(1) 当期の見通し

当第1四半期連結会計期間の連結業績は、営業収益面においては機械工具類大口顧客業務の減収を織り込んだ当初計画と比較してほぼ計画どおりに推移いたしました。利益面においては、作業効率改善徹底、パレット管理業務を自社運営に切替えたことにとりなう同事業実施子会社の事業停止（平成20年3月末）と品川営業所賃借終了（平成20年5月末）による合理化効果等に加え、受取配当金増加などの一時的要因も寄与して、計画を上回る状況となりました。

しかしながら今後、燃料軽油および各種資材の価格が一段と高騰する見通しにあるほか、食料品や生活用品等の大幅な値上がりによる個人消費の落ち込みの懸念が大きく、第2四半期以降の事業

環境はきわめて厳しいものと想定されます。また市場動向にもとづく音楽映像分野の取扱物量見通しが不分明であり、平成20年7月25日付で公表したシンガポール現地法人の解散に関する費用発生も見込まれるので、現時点においては、前回公表（平成20年5月15日付決算短信）の当平成21年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想の修正はありません。

なお、文中における将来に関する事項は、本資料の発表日現在において判断したものであり、不確実性が内在されていますので、将来生じる実際の結果と相当程度異なる可能性があります。

(2) その他

当社は、当社グループ経営のより効率的な事業展開を図る観点から、子会社を含む一連の不採算事業の見直しをおこなってまいりましたが、このほど、シンガポールにおいて倉庫業務およびフォワーディング業務を主な事業としておこなってきたTAKASE CORPORATION (SINGAPORE) PTE, LTD. について、同地域における日系顧客物流ニーズが変貌し、同社事業の発展性が低下しはじめたと判断されたことを機に、今後は現事業サービスを現地友好企業にアウトソーシングすることとして、同社を解散し、平成20年9月30日付で清算手続きに入る予定であります。

なお、平成21年3月期の連結業績において、未確定ではありますが、解散および清算関連費用として25百万円程度が特別損失として見込まれます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更をともなう特定子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社のほかに、エイワパレット株式会社は、平成20年3月31日をもって、事業を休止したことから、当第1四半期連結会計期間の期首において、連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

A. たな卸資産の評価方法

実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として、簡便な合理的な方法によって算出しております。

B. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出しております。

C. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

前連結会計年度において適用した貸倒実績率によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

A. 当第1四半期連結会計期間より「四半期連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期連結財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

B. 当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を適用し、評価基準を最終仕入原価法から最終仕入原価法（収益の低下による簿価引下げの方法）に変更しております。

これにより、損益に与える影響は軽微であります。

C. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正をおこなっております。

これにより、損益に与える影響は軽微であります。

D. リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用できることとなったこととともない、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年

数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。また、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引続き採用しております。

これにより、損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,369,091	2,315,687
受取手形及び売掛金	1,317,841	1,446,666
貯蔵品	10,708	11,155
前払費用	74,464	70,076
繰延税金資産	104,070	106,328
その他	265,135	284,815
貸倒引当金	△5,179	△5,639
流動資産合計	4,136,132	4,229,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,901,819	7,901,213
減価償却累計額	△4,998,813	△4,946,141
建物及び構築物（純額）	2,903,005	2,955,072
機械装置及び運搬具	2,171,614	2,175,283
減価償却累計額	△1,917,965	△1,924,445
機械装置及び運搬具（純額）	253,649	250,838
土地	2,310,974	2,310,974
その他	385,566	341,243
減価償却累計額	△283,810	△279,547
その他（純額）	101,755	61,696
有形固定資産合計	5,569,384	5,578,581
無形固定資産		
借地権	449,043	449,043
その他	87,835	48,083
無形固定資産合計	536,878	497,127
投資その他の資産		
投資有価証券	860,414	767,872
繰延税金資産	152,824	193,020
その他	315,175	387,652
貸倒引当金	△16,308	△17,146
投資その他の資産合計	1,312,105	1,331,400
固定資産合計	7,418,368	7,407,108
資産合計	11,554,501	11,636,199

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	565,662	741,889
1年内償還予定の社債	75,000	130,000
短期借入金	799,800	618,800
未払費用	195,077	163,459
未払法人税等	57,043	47,311
賞与引当金	184,920	112,539
役員賞与引当金	5,500	25,500
その他	118,269	163,341
流動負債合計	2,001,273	2,002,841
固定負債		
社債	780,000	780,000
長期借入金	546,100	605,050
退職給付引当金	555,231	558,503
役員退職慰労引当金	106,525	115,687
その他	12,107	12,107
固定負債合計	1,999,964	2,071,348
負債合計	4,001,237	4,074,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	3,139,208	3,177,427
自己株式	△60,772	△60,772
株主資本合計	7,382,285	7,420,504
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	180,084	131,122
為替換算調整勘定	△9,106	10,381
評価・換算差額等合計	170,978	141,504
純資産合計	7,553,264	7,562,009
負債純資産合計	11,554,501	11,636,199

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業収益	2,834,512
営業原価	2,423,775
営業総利益	410,737
販売費及び一般管理費	*1 283,946
営業利益	126,791
営業外収益	
受取利息	1,151
受取配当金	71,525
その他	4,009
営業外収益合計	76,687
営業外費用	
支払利息	10,241
支払補償費	1,586
その他	56
営業外費用合計	11,883
経常利益	191,594
特別利益	
固定資産売却益	2,748
貸倒引当金戻入額	1,442
役員退職慰労引当金戻入額	8,800
特別利益合計	12,990
税金等調整前四半期純利益	204,585
法人税、住民税及び事業税	61,008
法人税等調整額	8,850
法人税等合計	69,859
四半期純利益	134,726

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	204,585
減価償却費	86,124
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,297
賞与引当金の増減額 (△は減少)	72,381
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,271
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9,162
受取利息及び受取配当金	△72,677
支払利息	10,241
為替差損益 (△は益)	25
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,748
売上債権の増減額 (△は増加)	128,824
たな卸資産の増減額 (△は増加)	447
仕入債務の増減額 (△は減少)	△176,227
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,120
その他	53,152
小計	267,276
利息及び配当金の受取額	72,677
利息の支払額	△10,263
法人税等の支払額	△41,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	288,268
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△23,000
有形固定資産の取得による支出	△140,771
有形固定資産の売却による収入	4,843
貸付金の回収による収入	120
その他の支出	△43,633
その他の収入	71,782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,658
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	510,000
短期借入金の返済による支出	△359,000
長期借入金の返済による支出	△28,950
社債の償還による支出	△55,000
配当金の支払額	△108,948
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,488
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	96,222
現金及び現金同等物の期首残高	2,306,687
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△65,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,337,091

当第1四半期連結会計期間より「四半期連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期連結財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。
また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考情報」

前四半期にかかる財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

科 目	前年同四半期
	(平成20年3期第1四半期)
	金 額 (千円)
I 営業収益	3,324,489
II 営業原価	2,908,072
営業総利益	416,416
III 販売費及び一般管理費	290,687
営業利益	125,729
IV 営業外収益	
1. 受取利息及び配当金	11,364
2. その他	9,109
合 計	20,473
V 営業外費用	
1. 支払利息	14,481
2. その他	3,080
合 計	17,562
経常利益	128,639
VI 特別利益	
1. 固定資産売却益	822
2. 役員退職慰労引当金戻入益	4,365
合 計	5,187
VII 特別損失	
1. 固定資産売却除却損	43
2. 特別退職金	3,120
3. 役員特別退職慰労金	18,000
4. 保険積立金解約損	7,902
合 計	29,066
税金等調整前第1四半期純利益	104,761
法人税、住民税及び事業税	17,719
法人税等調整額	23,167
第1四半期純利益	63,874

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

区 分	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
	金 額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第1四半期純損益	104,761
減価償却費	79,312
売上債権の増減額(△は増加)	△50,640
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82
仕入債務の増減額(△は減少)	31,170
役員特別退職慰労金	18,000
保険積立金解約損	7,902
その他の増減額	18,305
小計	208,730
法人税等の支払額	△10,431
その他の支払額	△3,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	194,600
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△26,871
有形固定資産の売却による収入	1,532
保険積立金解約による収入	15,528
その他の増減額	△3,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,889
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	640,000
短期借入金の返済による支出	△436,000
長期借入金の返済による支出	△29,850
社債の償還による支出	△55,000
配当金の支払額	△109,086
その他の支出	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,972
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△665
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	191,017
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,932,302
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,123,320